2019年度 川崎医科大学 前期理系 第1問

問題 半径 $\frac{1}{\sqrt{3}}$ の円に内接する四角形 ABCD において,三角形 ABD は正三角形であるとする。線分 AC と線分 BD の交点を E とし,点 E は BD を 1:2 に内分する点であるとする。

$$(1) |\overrightarrow{AB}| = \boxed{7}, |\overrightarrow{AD}| = \boxed{1}, \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AD} = \boxed{\frac{7}{\boxed{1}}}$$
である。

(3) 点 A を通る直径の他端を F とすると,

実数
$$t$$
 を用いて $\overrightarrow{AC} = t\overrightarrow{AE}$ とおくと, $\overrightarrow{AC} \cdot \overrightarrow{FC} = \boxed{9}$ であるから, $t = \boxed{\frac{f}{y}}$ となる。

S_kawasakiika2019A_01.pbm